

第3章 在宅介護実態調査

(報告書案)

1 調査票の記入者

	回答数（人）	割合（％）
ご本人	294	54.2
主な介護者となっている家族・親族	239	44.1
主な介護者以外の家族・親族	17	3.1
ご本人のケアマネジャー	1	0.2
その他	6	1.1
無回答	29	5.4
総数	542	100.0

※ 記入者については、複数回答可のため回答数の単純合計と総数は一致しない

2 本人の状況（A票）

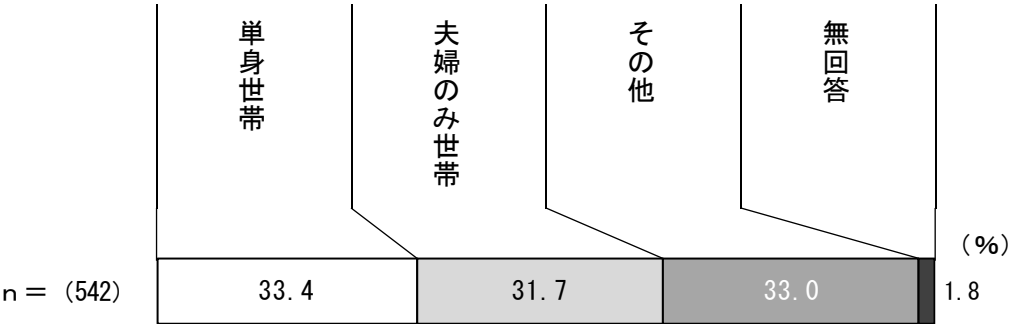
1 基本情報・サービス利用意向等

（1）世帯類型

問1 世帯類型を教えてください

本人の世帯類型は、「単身世帯」が33.4%で最も多く、次いで「その他」（33.0%）,「夫婦のみ世帯」（31.7%）が続いています。

【世帯類型】

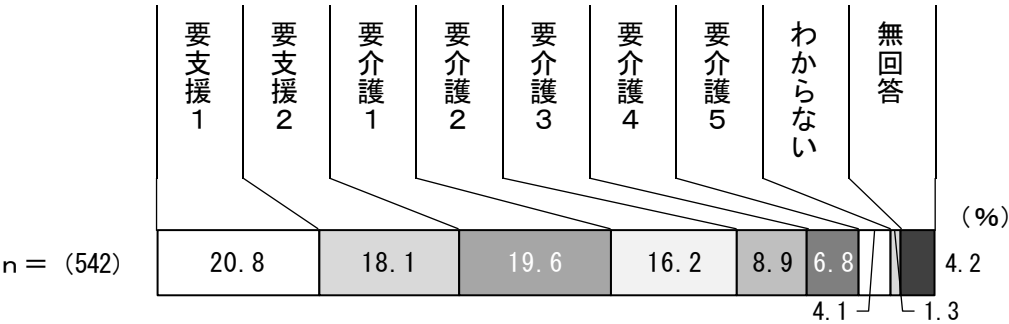


（2）要介護度

問2 要介護度を教えてください

本人の要介護度は、「要支援1」が20.8%で最も多く、次いで「要介護1」（19.6%）,「要支援2」（18.1%）等が続いています。

【要介護度】

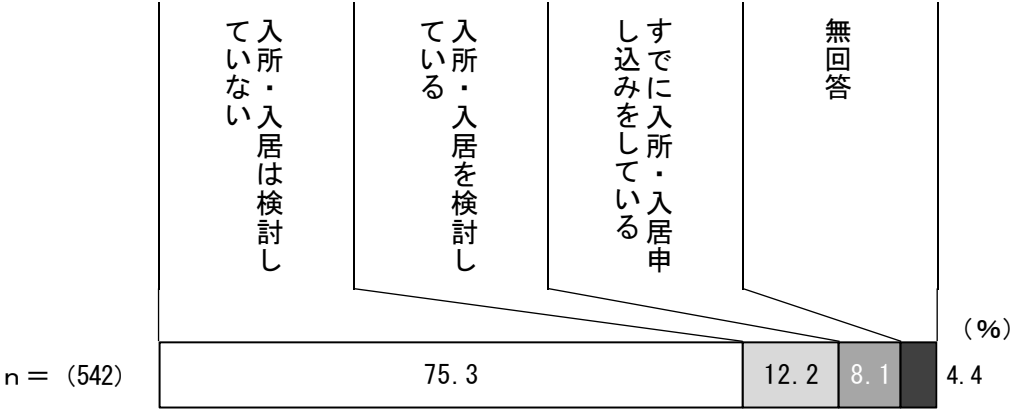


(3) 入所・入居の検討状況

問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況を教えてください

現時点での施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が75.3%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(12.2%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(8.1%)が続いています。

【入所・入居の検討状況】



※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院（介護療養型医療施設）、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す

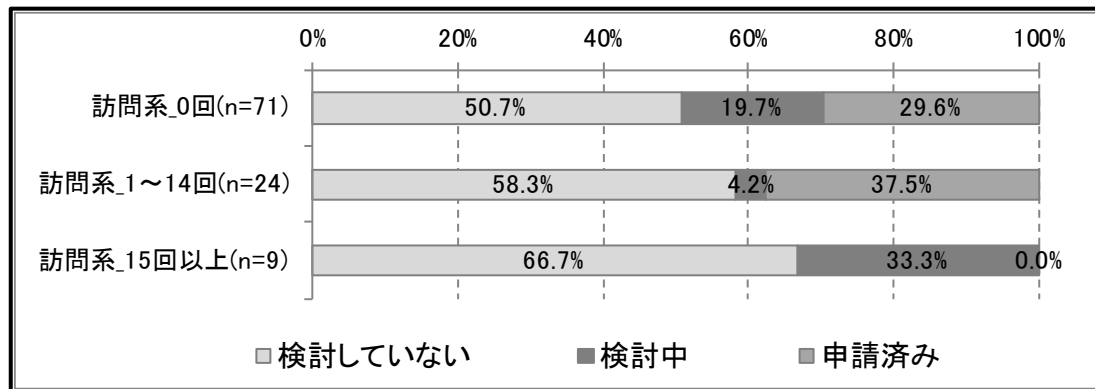
施設等への入所・入居の検討状況について、サービスの利用回数別にみると、「入所・入居は検討していない」と回答している割合は、訪問系サービスの利用回数が多いほど高くなっています。

一方、施設等への入所・入居の検討状況について、サービス利用の組み合わせでみると、「入所・入居は検討していない」と回答している割合は、あまり大きな差はありません。

なお、図表中のサービスの分類については以下の表のとおりとなっています。

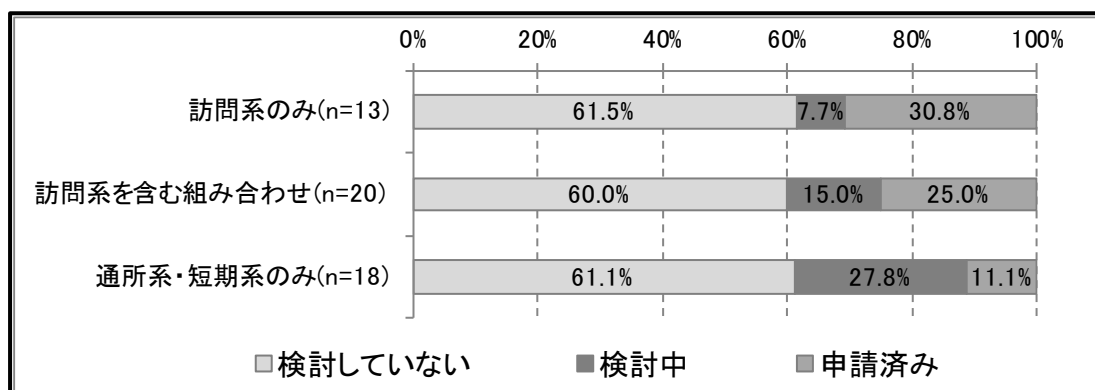
分類	サービスの内訳
訪問系	訪問介護・訪問型サービス、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護
通所系	通所介護・通所型サービス、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護
短期系	(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護
訪問系のみ	「訪問系」もしくは「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」のみの利用を集計
訪問系を含む組み合わせ	「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」の利用を集計
通所系・短期系のみ	「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計

【サービス利用回数と施設等入所・入居の検討状況（訪問系、要介護3以上）】



※サービスの利用回数は、1か月あたりの回数

【サービス利用の組み合わせと施設等入所・入居の検討状況（要介護3以上）】



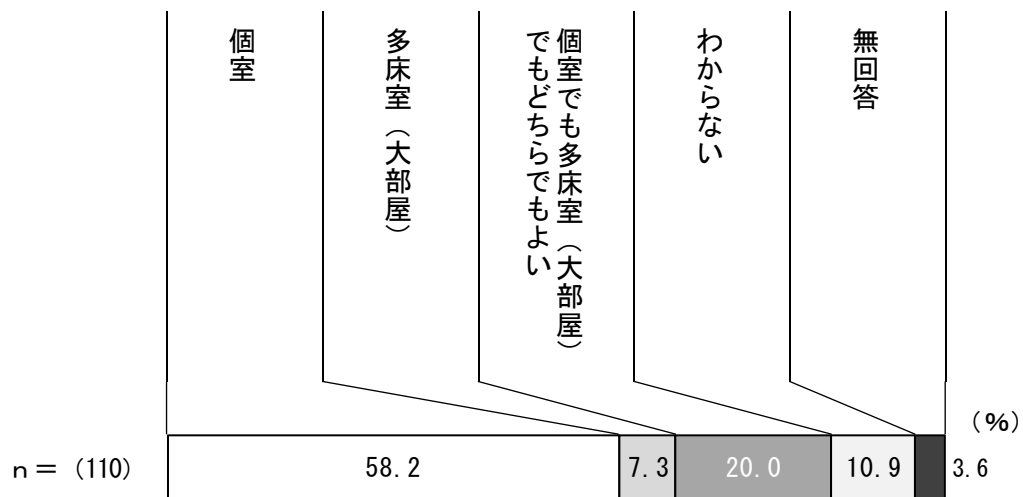
(4) 希望する部屋の種類

【問3で「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」を選択した方のみ】

問3-1 施設で生活される場合、どのような部屋を希望しますか

問3で「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方の希望する部屋の種類については、「個室」が58.2%で最も多く、次いで「個室でも多床室（大部屋）でもどちらでもよい」（20.0%）、「わからない」（10.9%）等が続いています。

【希望する部屋の種類】



(5) 個室あるいは多床室を希望する理由

問3-2 個室あるいは多床室（大部屋）を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください

全体で、42件の回答がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

個室を希望する理由

- ・テレビを観る際、大音量にしないと聞き取れないため。他人と一緒にはずらわしい。
- ・昼は色々な方と話をしても、夜は1人でいるほうが良いと思う。
- ・1人で静かに過ごしたい。
- ・自分自身の自由時間がほしい。
- ・大部屋ではプライバシーが保たれず、安眠できないことがわかったから。
- ・他人の目を気にせず過ごせる場所がほしいから。
- ・大部屋だと他人に迷惑がかかると思うので、個室がよい。

多床室（大部屋）を希望する理由

- ・金額が安いから。
- ・本人が認知症のため、雑音が多いほうが刺激になると思う。
- ・個室では何かあった時には1人で連絡を取ることができないから。

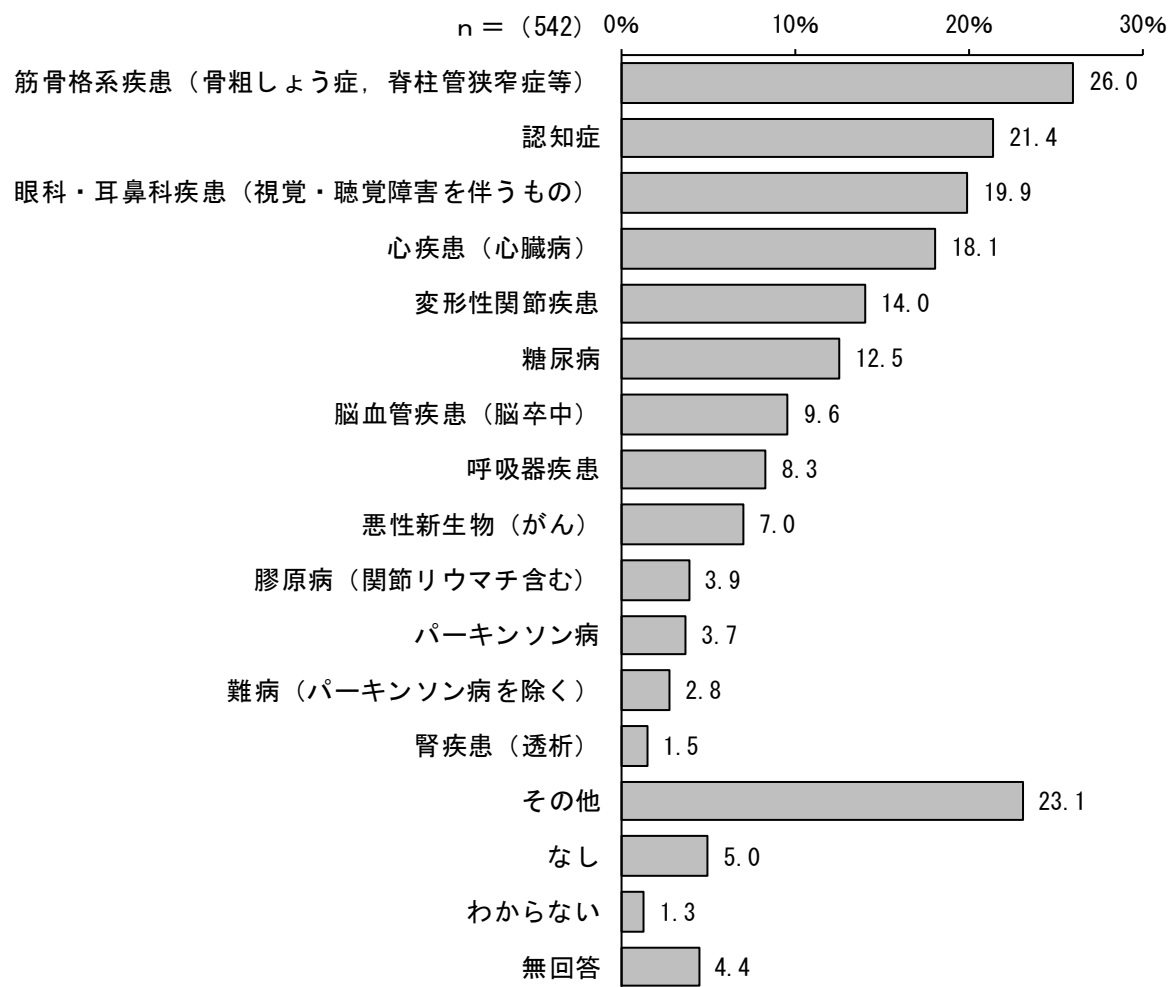
（6）現在抱えている傷病

問4 現在抱えている傷病を教えてください（あてはまるものすべてに○）

本人が現在抱えている傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が26.0%で最も多く、次いで「認知症」（21.4%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（19.9%）、「心疾患（心臓病）」（18.1%）等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「高血圧症」、「後縦靱帯骨化症」、「うつ病」、「帯状疱疹後神経痛」、「統合失調症」、「脳梗塞」等となっています。

【現在抱えている傷病】（複数回答）

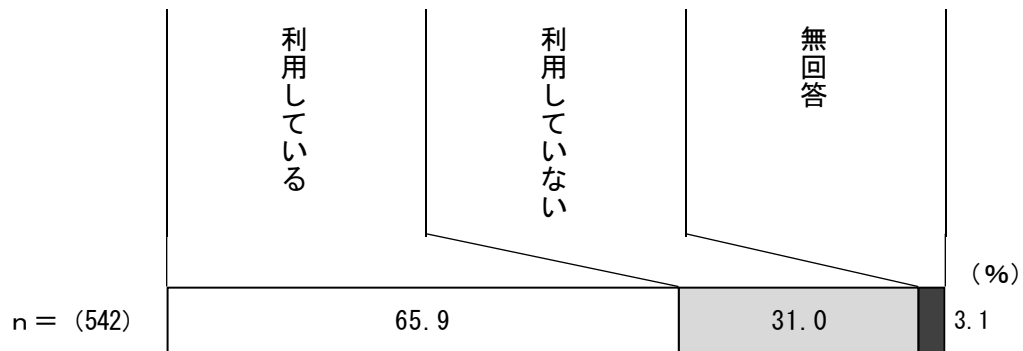


(7) 介護保険サービスの利用

問5 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか

介護保険サービスの利用については、「利用している」が 65.9%、「利用していない」は 31.0%となっています。

【介護保険サービスの利用】



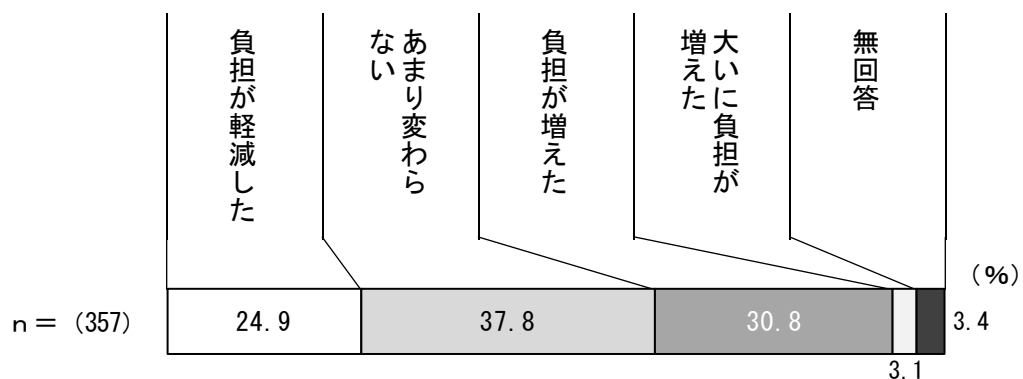
(8) 介護保険サービスを利用したことでの経済的な負担の変化

【問5で「利用している」を選択した方のみ】

問6 介護保険サービスを利用することで、経済的な負担は怎么样了か

問5で「利用している」と回答した方の経済的な負担については、「あまり変わらない」が 37.8%で最も多く、次いで「負担が増えた」(30.8%)、「負担が軽減した」(24.9%) 等が続いています。

【介護保険サービスを利用したことでの経済的な負担の変化】



※ 今回調査から新たに追加された設問

(9) 介護保険サービスを利用していない理由

【問5で「利用していない」を選択した方のみ】

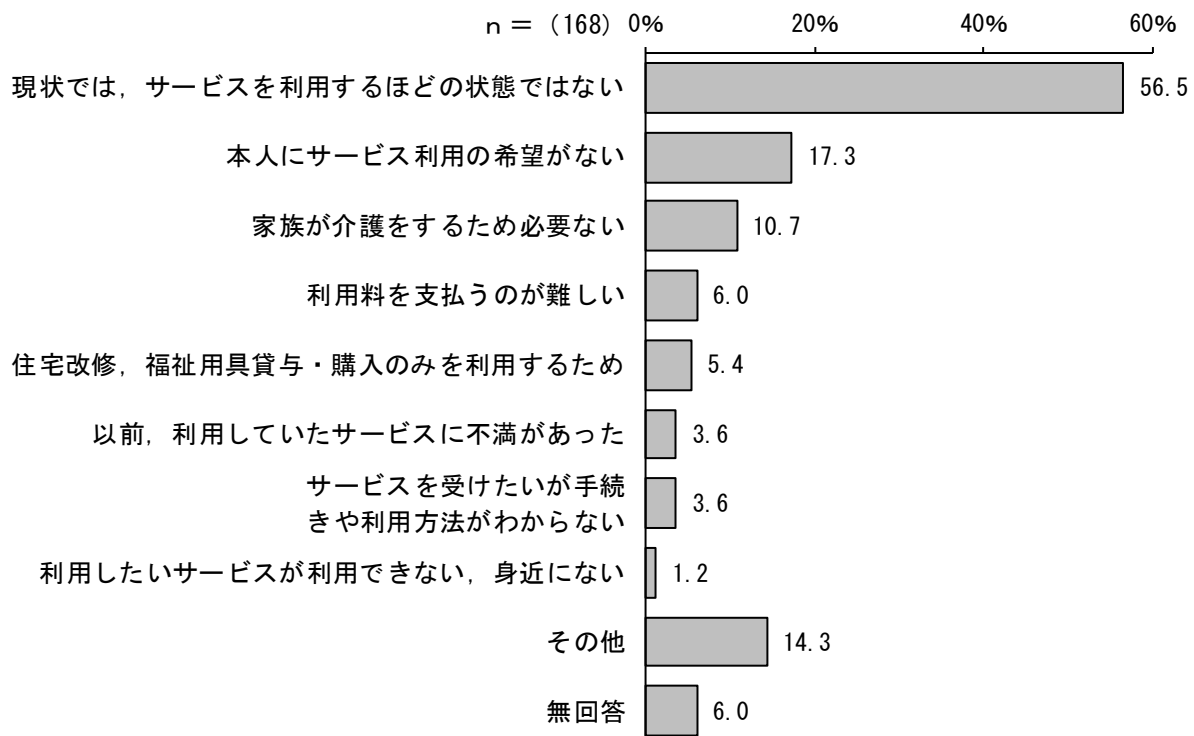
問7 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください

(あてはまるものすべてに○)

問5で「利用していない」と回答した方にその理由を聞くと、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が56.5%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(17.3%)、「家族が介護をするため必要ない」(10.7%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「これから利用予定」、「何とか現状で頑張っている」、「現在検討中」等となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由】(複数回答)

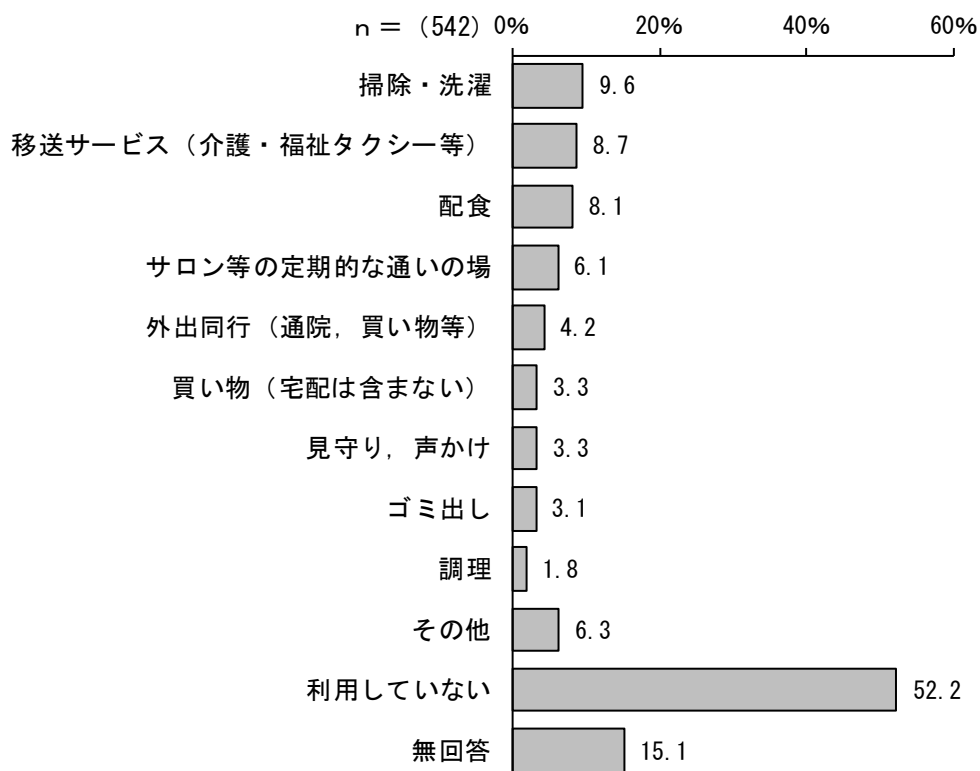


(10) 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスを教えてください
(あてはまるものすべてに○)

現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスとしては、「掃除・洗濯」が9.6%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(8.7%)、「配食」(8.1%)等が続いています。一方で「利用していない」が52.2%となっています。

【現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス】(複数回答)



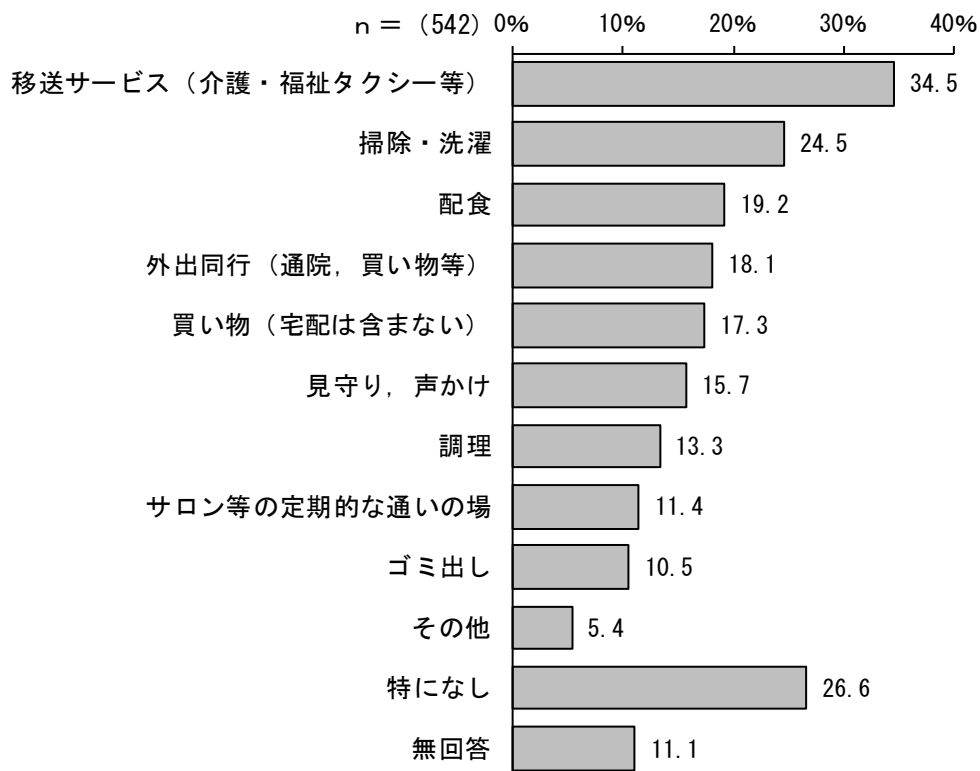
※ 総合事業に基づく支援・サービスは，介護保険サービスに含める

(11) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）を教えてください
（あてはまるものすべてに○）

在宅生活に必要と感じる支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.5%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」（24.5%）、「配食」（19.2%）、「外出同行（通院，買い物等）」（18.1%）等が続いています。一方、「特になし」が26.6%となっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】（複数回答）



※ 介護保険サービス，介護保険サービス以外の支援・サービスともに含む

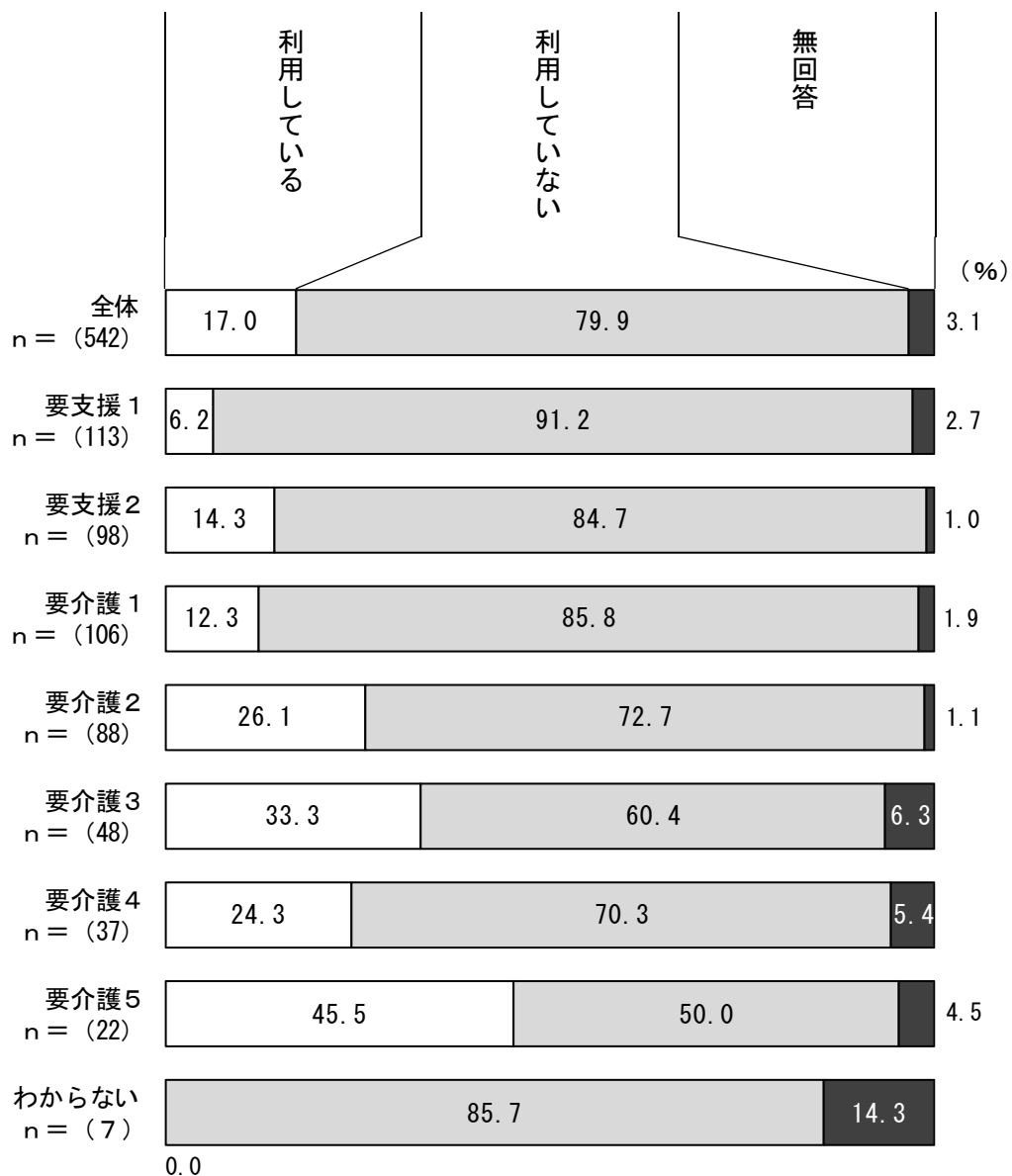
(12) 訪問診療の利用

問10 現在、訪問診療を利用していますか

訪問診療の利用については、「利用している」が17.0%となっています。

要支援・要介護度別にみると、要介護5と回答した方が「利用している」が45.5%と最も多くなっています。

【訪問診療の利用：要支援・要介護度別】



※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まない

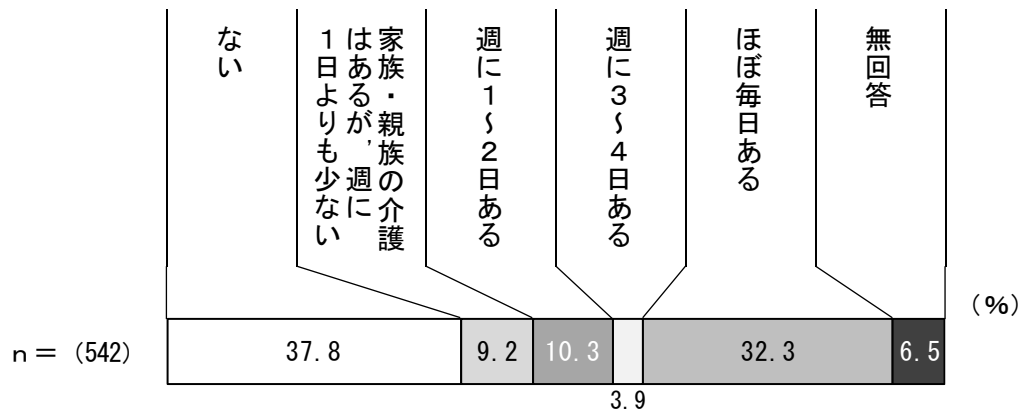
2 家族や親族からの介護

(1) 家族や親族からの介護の頻度

問 11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

家族や親族からの介護があるかについては、「ない」が 37.8%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」(32.3%)、「週に1～2日ある」(10.3%) 等が続いています。

【家族や親族からの介護の頻度】



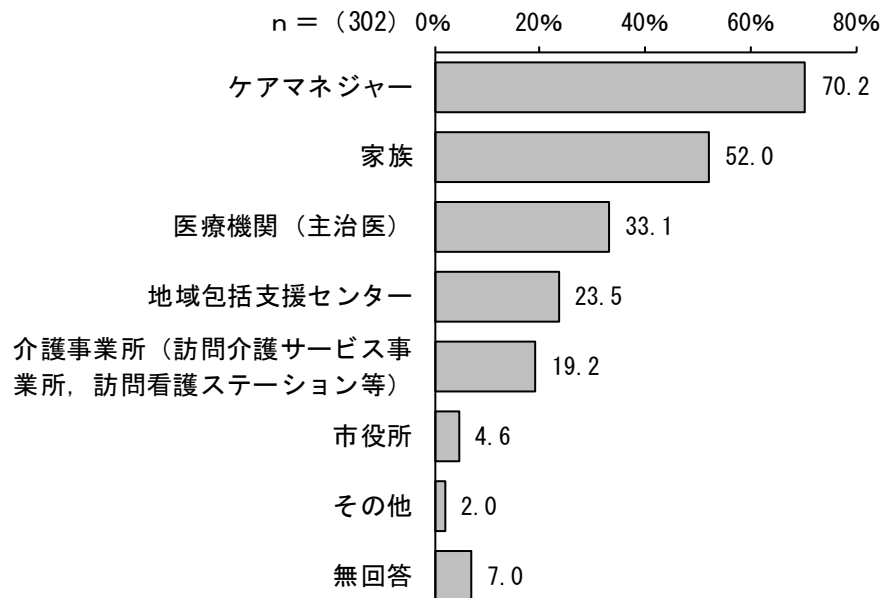
(2) 介護についての相談・連絡先

【問 11 において「ない」以外を選択した方のみ】

問 12 ご自身が受けている介護のことで、悩んでいるときに、どこに相談・連絡しますか（あてはまるものすべてに○）

問 11 において「ない」以外を選択した方に、本人が受けている介護について悩んでいるときの相談・連絡先について聞いたところ、「ケアマネジャー」が 70.2%で最も多く、次いで「家族」(52.0%)、「医療機関（主治医）」(33.1%) 等が続いています。

【介護についての相談・連絡先】（複数回答）



3 成年後見制度

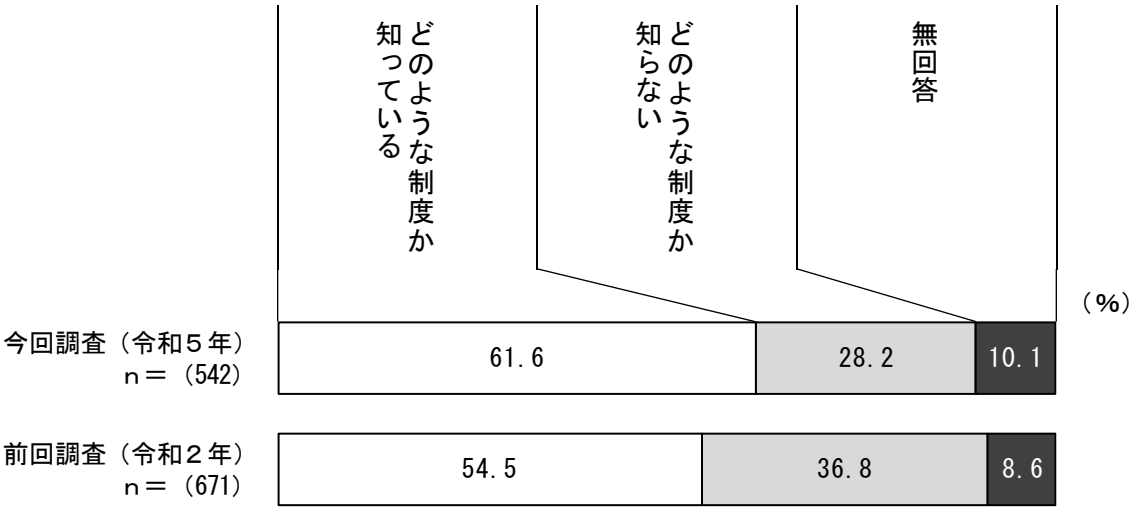
(1) 成年後見制度の認知度

問 13 成年後見制度を知っていますか

成年後見制度を知っているか聞いたところ、「どのような制度か知っている」が 61.6%、「どのような制度か知らない」が 28.2%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「どのような制度か知っている」が 7.1 ポイント増加している一方、「どのような制度か知らない」が 8.6 ポイント減少しています。

【成年後見制度の認知度】



※ 成年後見制度とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度

(2) 成年後見制度の利用意向

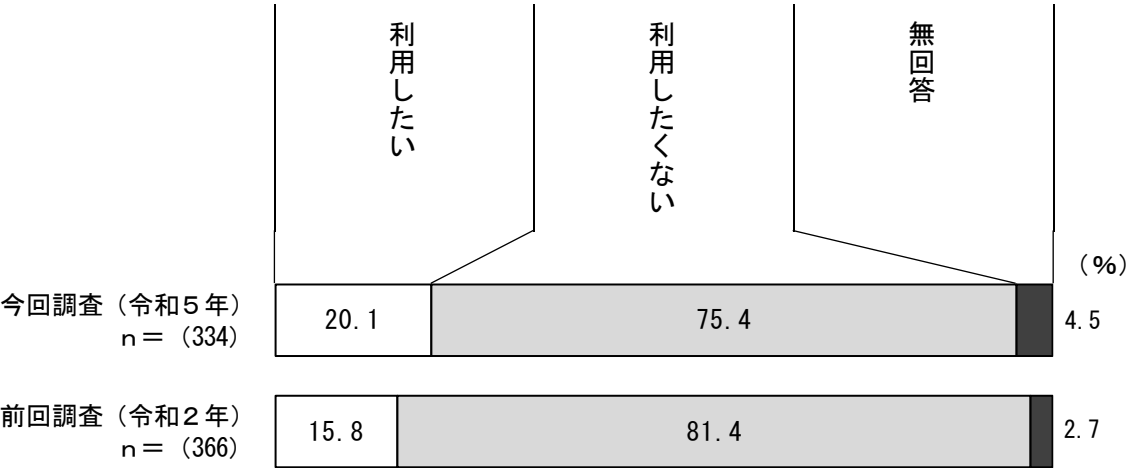
【問 13 において「どのような制度か知っている」を選択した方のみ】

問 14 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

問 13 において「どのような制度か知っている」と回答した方に成年後見制度の利用意向について聞いたところ、「利用したい」が 20.1%、「利用したくない」が 75.4%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「利用したい」が 4.3 ポイント増加している一方、「利用したくない」が 6.0 ポイント減少しています。

【成年後見制度の利用意向】



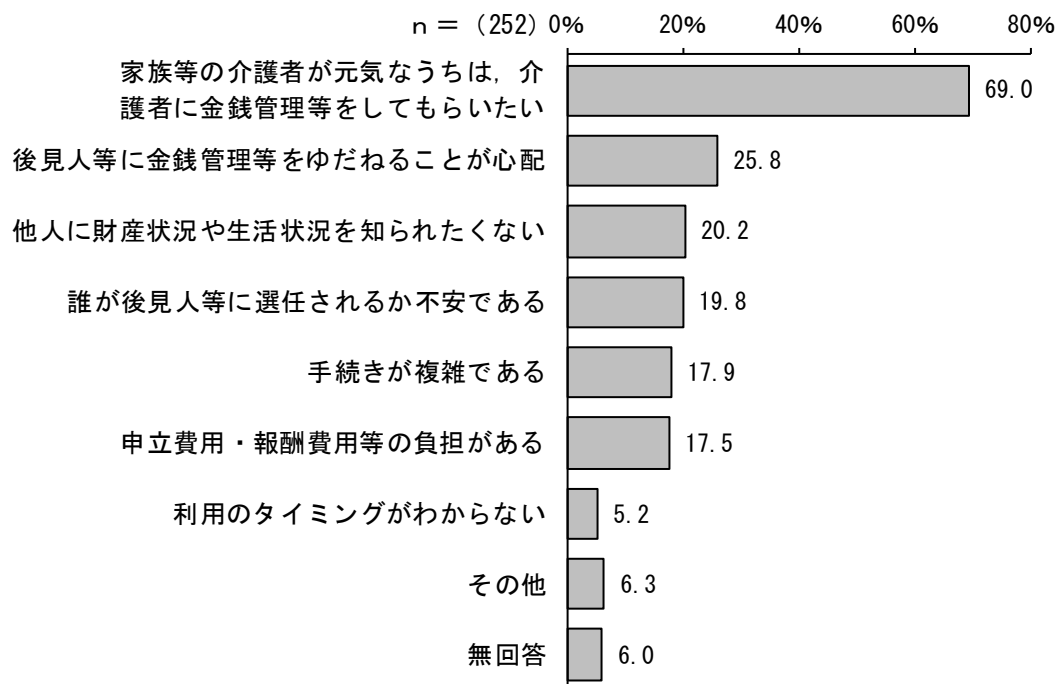
(3) 成年後見制度を利用したくない理由

【問14において「利用したくない」を選択した方のみ】

問15 成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか（3つまで選択可）

問14において「利用したくない」と回答した方に、その理由について聞いたところ、「家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が69.0%で最も多く、次いで「後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配」(25.8%)、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」(20.2%)、「誰が後見人等に選任されるか不安である」(19.8%)等が続いています。

【成年後見制度を利用したくない理由】（複数回答）



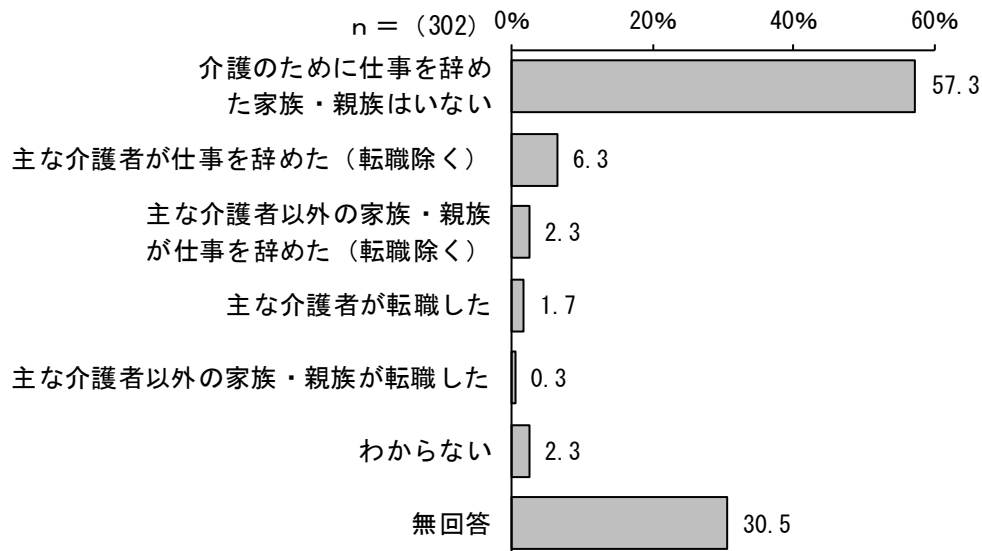
3 主な介護者の状況（B票）

（1）介護を理由とする退職

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（あてはまるものすべてに○）

家族や親族からの介護を受けていると回答した方の主な介護者に、本人の介護を主な理由として仕事を辞めた方がいるかについて聞いたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が57.3%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（6.3%）等が続いています。

【介護を理由とする退職】（複数回答）



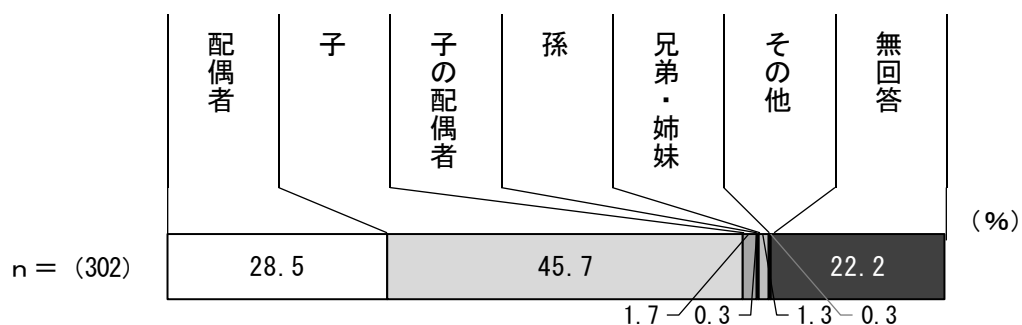
※ 自営業や農林水産業の仕事を辞めた方を含む

（2）主な介護者

問2 主な介護者の方は、どなたですか

主な介護者は、「子」が45.7%で最も多く、次いで「配偶者」（28.5%）、「子の配偶者」（1.7%）等が続いています。

【主な介護者】

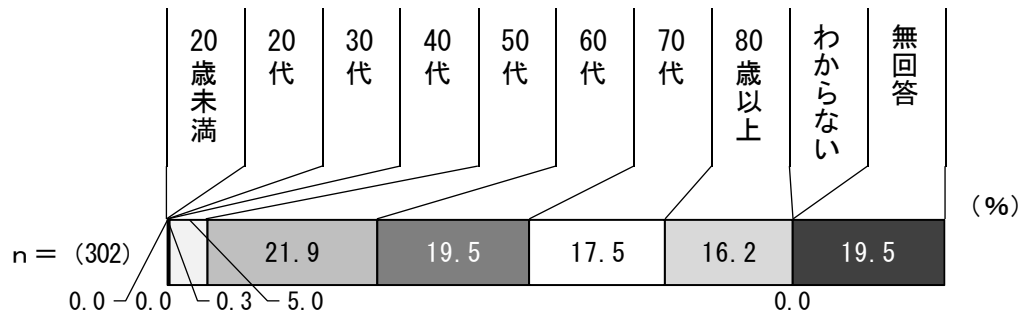


(3) 主な介護者の年齢

問3 主な介護者の方の年齢を教えてください

主な介護者の年齢は、「50代」が21.9%で最も多く、次いで「60代」(19.5%)、「70代」(17.5%)等が続いています。

【主な介護者の年齢】

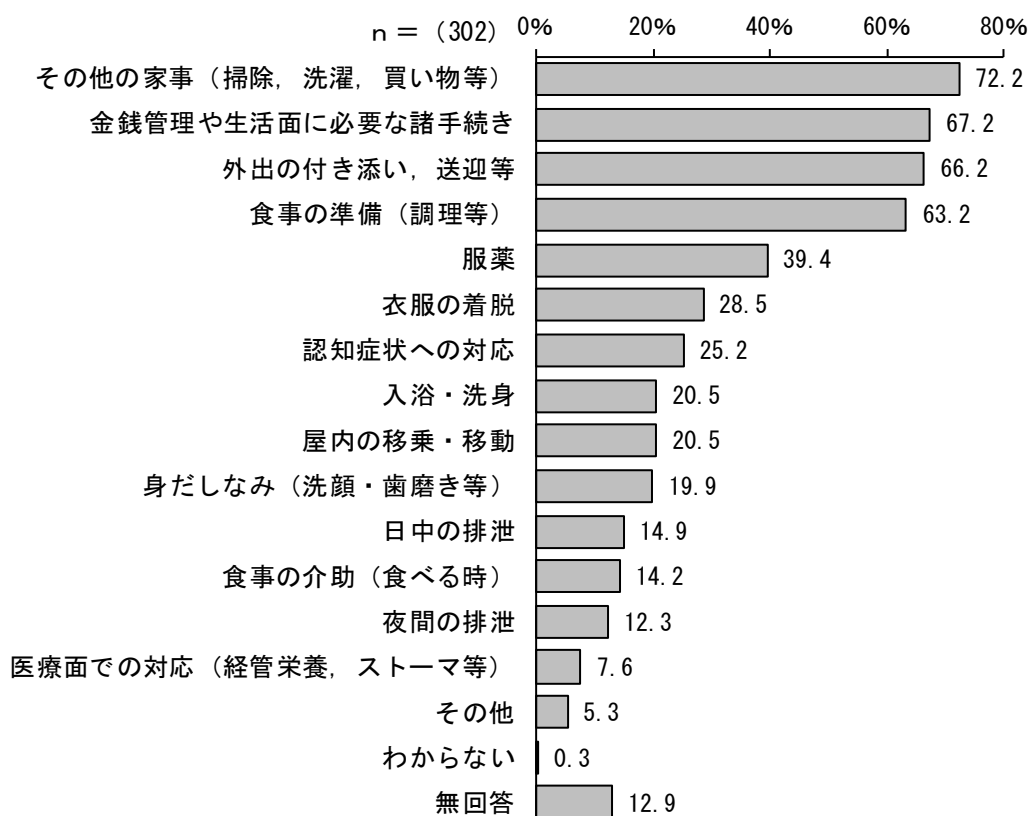


(4) 主な介護者が行っている介護等

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除，洗濯，買い物等）」が72.2%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(67.2%)，「外出の付き添い，送迎等」(66.2%)，「食事の準備（調理等）」(63.2%)等が続いています。

【主な介護者が行っている介護等】（複数回答）

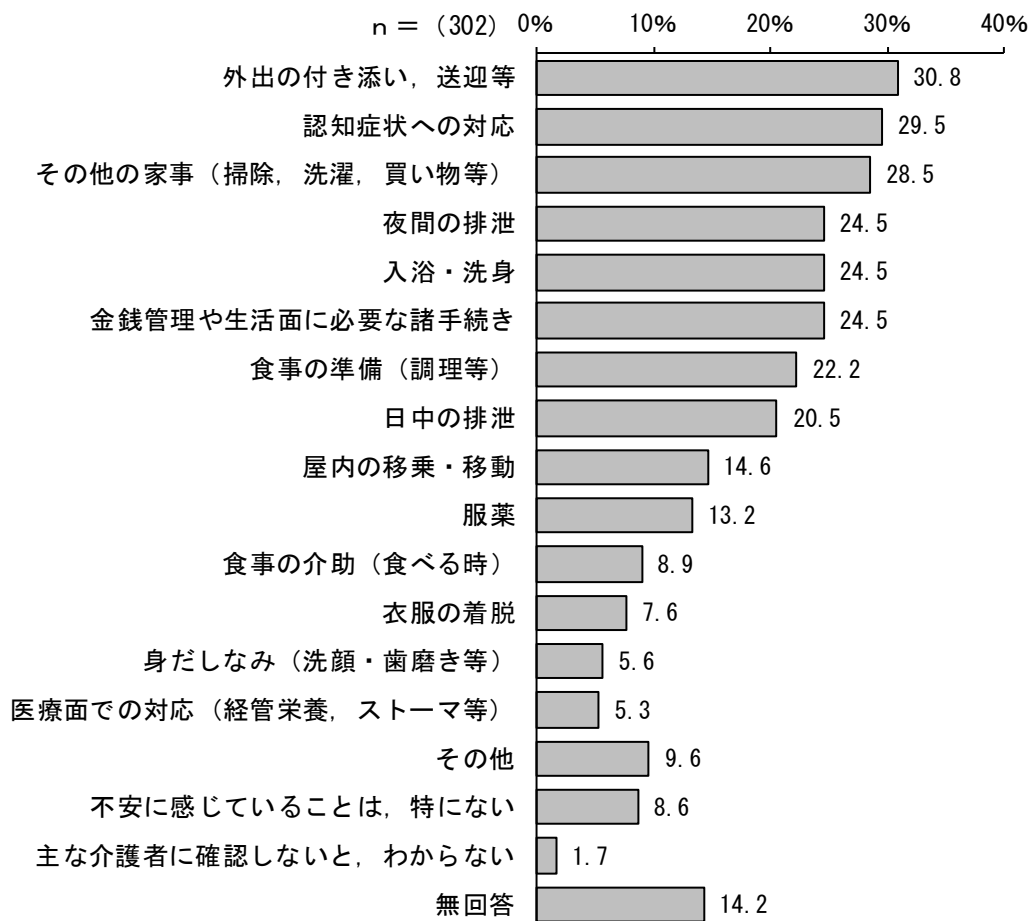


（５）主な介護者が不安に感じる介護等

問５ 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等を教えてください（現状で行っているか否かは問いません）（３つまで選択可）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「外出の付き添い、送迎等」が 30.8%で最も多く、次いで「認知症状への対応」（29.5%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（28.5%）、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（それぞれ 24.5%）等が続いています。

【主な介護者が不安に感じる介護等】（複数回答）

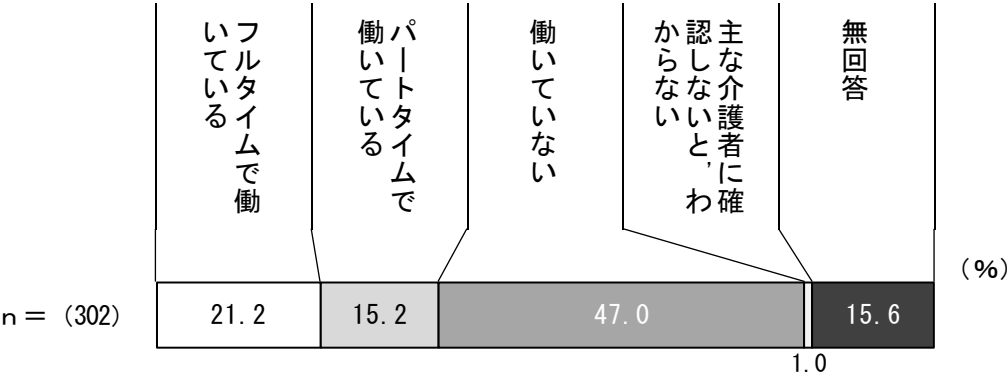


(6) 主な介護者の勤務形態

問6 主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が 47.0%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」(21.2%)、「パートタイムで働いている」(15.2%) 等が続いています。

【主な介護者の勤務形態】



※ パートタイムとは、1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当する。いわゆるアルバイト、嘱託、契約社員等の方を含む。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等からフルタイム・パートタイムのいずれかを選択している

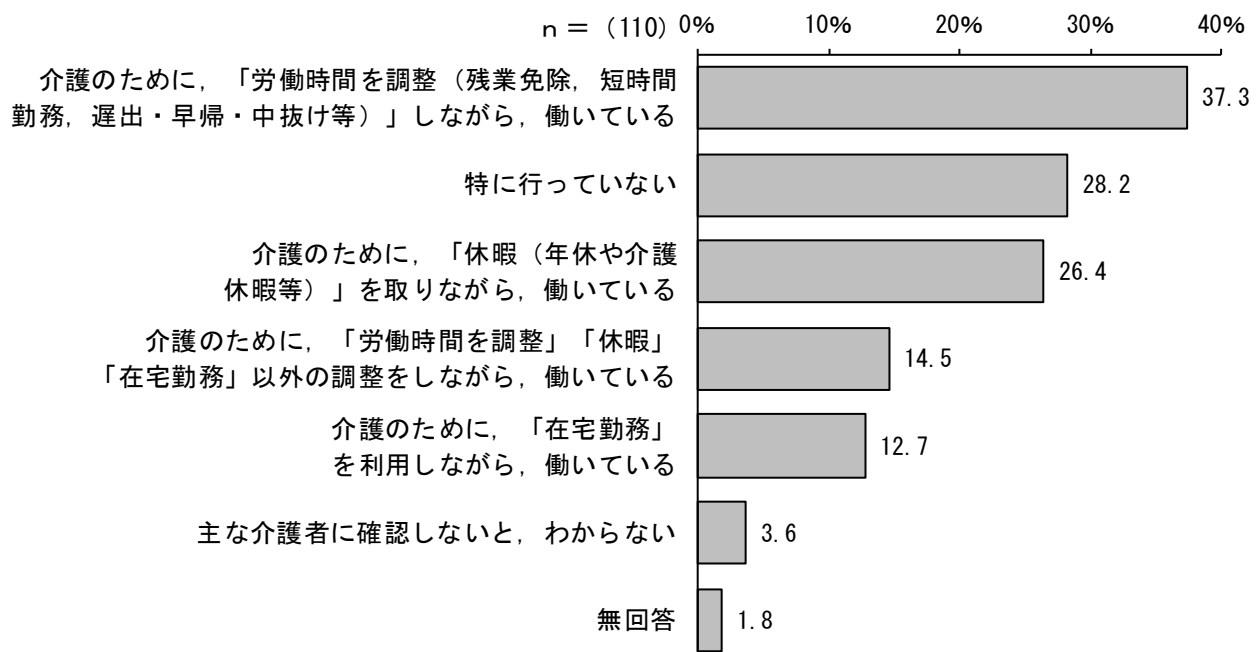
(7) 主な介護者の働き方の調整

【問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」を選択した方のみ】

問7 主な介護者の方は、介護をするにあたって、働き方についての調整等をしていますか（あてはまるものすべてに○）

問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」と回答した方に介護をするにあたって働き方の調整等をしているか聞いたところ、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除，短時間勤務，遅出・早帰・中抜け等）」しながら，働いている」が37.3%で最も多く，次いで「特に行っていない」（28.2%），「介護のために，「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら，働いている」（26.4%）等が続いています。

【主な介護者の働き方の調整】（複数回答）



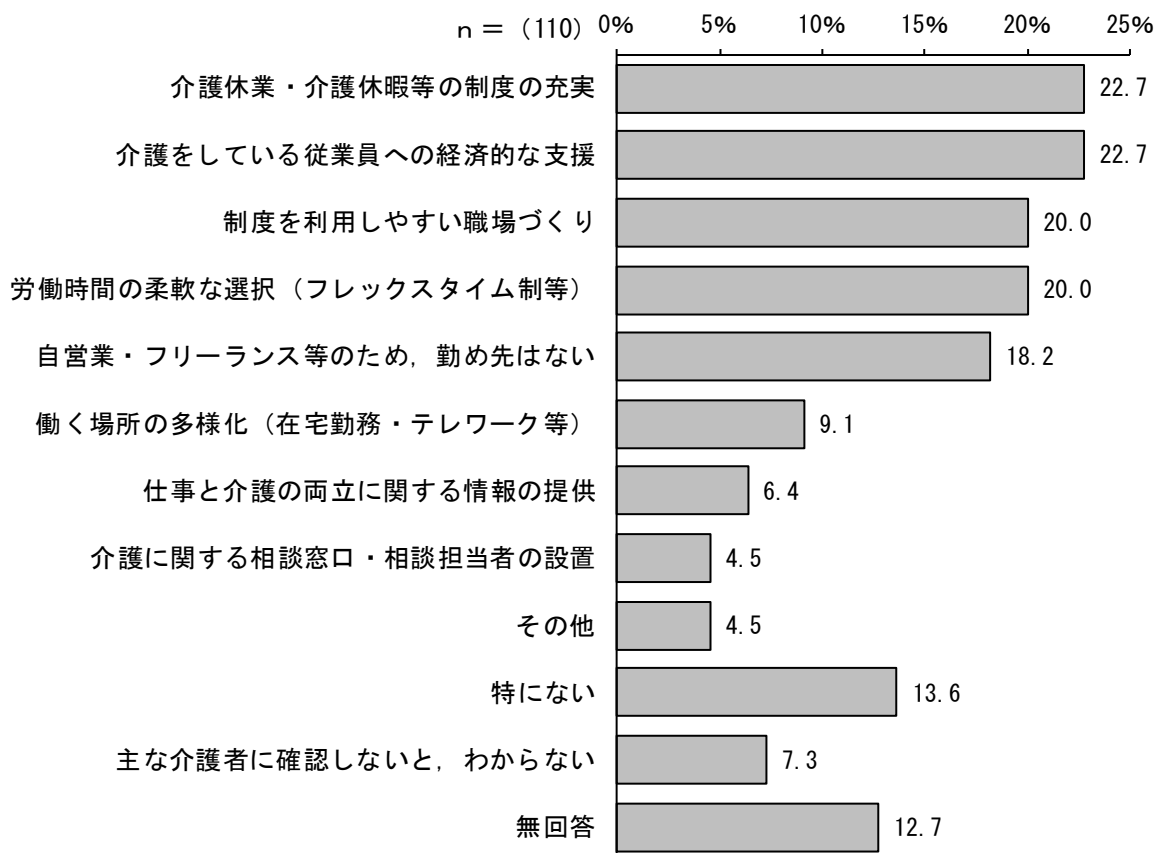
(8) 効果があると思う勤め先からの支援

【問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」を選択した方のみ】

問8 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」と回答した方に効果があると思う勤め先からの支援を聞いたところ、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「介護をしている従業員への経済的な支援」がそれぞれ22.7%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）」（それぞれ20.0%）、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」（18.2%）等が続いています。

【効果があると思う勤め先からの支援】（複数回答）

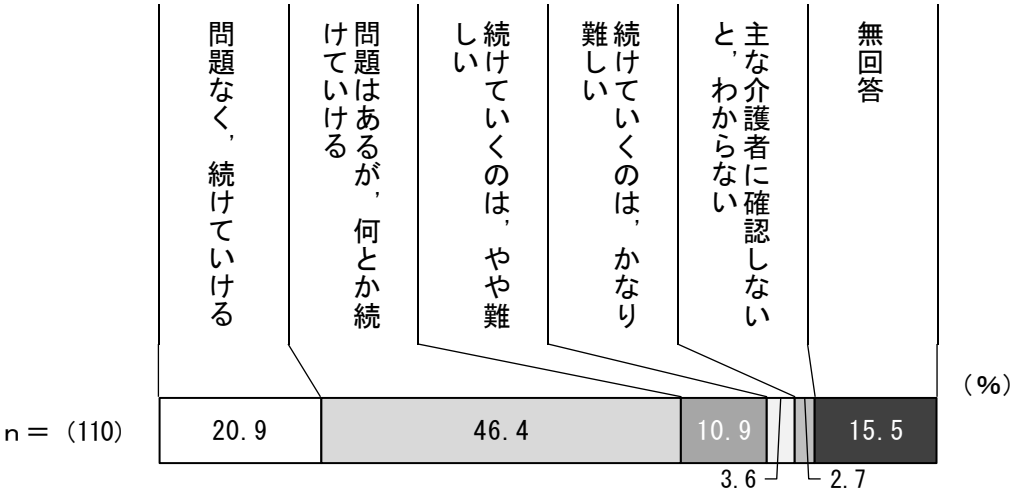


(9) 就労継続の見込み

【問 6 で「(フルタイム・パートタイム) で働いている」を選択した方のみ】
問 9 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

問 6 で「(フルタイム・パートタイム) で働いている」と回答した方に今後も働きながら介護を続けていけそうか聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が 46.4%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」(20.9%)、「続けていくのは、やや難しい」(10.9%)等が続いています。

【就労継続の見込み】



(10) 主な介護者の状態や気持ち

【主な介護者の方が記入した場合のみ回答してください】

問 10 次の項目について、主な介護者の方の状態や気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

主な介護者の状態や気持ちに最も近いものについて「(よく・どちらかという) あてはまる」との回答が多いのは、③ストレスがたまっているが49.7%で最も多く、次いで⑤自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある(39.4%)、⑦共倒れしてしまうのではないかとと思うことがある(34.7%)、⑧ご本人についつらくあたってしまうことがある(33.8%)等が続いています。

一方、「(あまり・まったく) あてはまらない」との回答が多いのは、⑫適切な介護の方法や、その相談窓口がわからないが65.6%で最も多く、次いで⑪家族や親族等の理解・協力が得られない(56.3%)、⑩誰も自分の大変さを理解してくれない(52.0%)、⑨ご本人と意思疎通ができない(50.4%)等が続いています。

【主な介護者の状態や気持ち】

	よくあてはまる	どちらかという	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
n = (302)					(%)
①睡眠時間や休息時間がとれない	9.3	23.8	24.5	15.2	27.2
②自分の健康が保てない	6.0	27.2	29.5	13.9	23.5
③ストレスがたまっている	19.2	30.5	19.2	7.6	23.5
④精神的・肉体的疲労感が限界である	7.3	22.5	30.8	15.2	24.2
⑤自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある	13.9	25.5	25.2	11.6	23.8
⑥介護を続けていく自信がない	5.6	22.5	36.4	11.3	24.2
⑦共倒れしてしまうのではないかとと思うことがある	9.9	24.8	26.2	14.9	24.2
⑧ご本人についつらくあたってしまうことがある	10.3	23.5	27.2	14.9	24.2
⑨ご本人と意思疎通ができない	6.3	18.9	31.5	18.9	24.5
⑩誰も自分の大変さを理解してくれない	5.0	19.5	32.8	19.2	23.5
⑪家族や親族等の理解・協力が得られない	6.0	12.6	30.8	25.5	25.2
⑫適切な介護の方法や、その相談窓口がわからない	8.6	41.4	24.2	24.5	1.3
⑬経済的負担が大きい	7.6	21.9	29.1	17.5	23.8

